

## 那覇港におけるアルゼンチンアリの確認について

那覇港管理組合による調査において、侵略的外来種であるアルゼンチンアリが那覇港公共国際コンテナターミナル内のコンテナヤードで確認されました。那覇港では2回目の確認となります。

同種は人を直接刺すなどの被害はないものの、生態系への被害のおそれがあり、今後の分布拡大が懸念されます。外来種の早期発見・初期防除のため、関係者の方々の注意喚起への御協力をお願いいたします。

### 1. 経緯

那覇港管理組合ではヒアリの侵入監視のため、那覇港において平成29年度から年1回コンテナヤード内で調査を実施しています。今年の調査(2022年10月27日)で採集したサンプルからアルゼンチンアリが確認されました(50個体程度)。那覇港において、アルゼンチンアリは2019年にコンテナヤード内で1個体確認されたのが県内初事例となっております。今回は2回目の確認となります。

なお、現時点において、県内では那覇港以外で確認されておられません。

今回確認された場所での営巣は確認されておらず、拡散の恐れはありませんが、物流を通じた拡散が今後も懸念されることから、ヒアリなどその他の侵略的な外来アリ類の監視と併せ、関係機関と連携して早期発見・初期防除に努めて参ります。

### 2. アルゼンチンアリについて

アルゼンチンアリ(*Linepithema humile*)は南米原産のアリであり、日本国内では1993年に広島県で定着が確認されて以降、国内各地で確認されています。

沖縄県内では、ヒアリ同様に重点予防種(沖縄県対策外来種リスト)とされており、県内への侵入を最も警戒している種類の一つです。



### 3. 関係機関

本件につきましては、環境省 沖縄奄美自然環境事務所、沖縄科学技術大学院大学(OIST)、沖縄総合事務局、沖縄県等と情報共有し、連携して参ります。

※詳細は以下をご覧ください。

<https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/list/L-kon-04.html>

[https://okinawa-gairaisyu.com/?page\\_id=1834](https://okinawa-gairaisyu.com/?page_id=1834)

問い合わせ先

那覇港管理組合 管理課

管理班：松田、糸数

TEL：098-862-2328